

6月号

2024 June

Vol. 159

きらめき



kirameki
Yamaguchi

山口県看護協会報

山口県立大学看護栄養学部 看護学科

所在地:〒753-0021 山口県山口市桜島6丁目2-1

本学は1941年に開学し、2021年に創立80周年を迎えました。看護学科は山口県初の看護の大学教育を開始し28年目となり、歴史と伝統のある大学です。多くの卒業生（看護・保健・助産師、感染症管理認定看護師）が山口県の看護に貢献しています。少人数制のきめ細やかな教育を行い、人間力の高い専門性を有する看護職者を育成しています。



令和6年度 山口県看護協会通常総会の開催にあたって

会員の皆様には、平素より協会活動に対してご理解とご協力をいただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

さて、近年頻発する大災害の被災地、また、国難ともいえるコロナ禍等の厳しい医療現場で「命」と向き合い、懸命に使命を果たす看護職の姿に対し、かつてないほど社会からは敬意と大きな期待がよせられています。こうした社会的役割の重要性や期待に応えるため、本協会では、特に「看護の質の向上とキャリア形成の促進」、「地域における健康危機管理体制の強化」に取り組んできました。

看護の質向上では、複雑化・多様化している地域からのニーズに応えるため、会長 西生 敏代 認定看護師・専門看護師等が活動の場を自施設以外の施設や地域で専門性を生かし活動できるシステムをつくり、地域における健康と療養を支えるため看護職全体の質の向上を図る「認定看護師等活躍推進事業」を令和5年度から3年スパンで実施しているところです。

また、今年、新年早々に発生した能登半島地震では、皆様のご協力のもと本協会から、災害支援ナースを12チーム（1チーム2人）派遣し、被災地支援を行ったところです。こうした中、令和6年4月1日から災害と感染症への対応を一体的に行う国の仕組みとしての災害支援ナース制度が医療法等の改正により法定化されました。本協会において新たな仕組みによる災害支援ナース105名が令和5年度養成研修を修了し登録されましたが、今後も引き続き、看護が必要なところへ適切な支援を安定的に届けられるよう、取り組みを推進していきたいと思っています。

更に、令和6年度から2040年を見据え、地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、重点方針の「全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携」において、在宅療養の要となる訪問看護サービスに係る様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護体制の安定化・推進支援を図るための「訪問看護総合支援センター」を設置し運営することとし、県全体の訪問看護ステーションの機能強化を図ります。

本協会としましては、こうした取り組みの成果を見据えながら昨年度の5つの重点政策を踏襲し、協会員の皆様方のご理解のもとさらに看護職一人ひとりのスキルアップやキャリア継続を支援するとともに、看護を必要とする人々の健康とQOLの向上に努め、看護職が自信と誇りをもって、今以上に輝き、人々により良い看護を提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



受章(賞)者の紹介

受章(賞)
おめでとうございます



令和6年 春の叙勲 瑞宝双光章

元徳山中央病院看護部長 小阪 マリ子 氏 (看護師)

第52回 医療功労賞

元萩市保健部理事 河上屋 里美 氏 (保健師)

令和5年度 一般財団法人日本公衆衛生協会公衆衛生事業功労者表彰

元岩国市健康医療部長 片瀬 智恵 氏 (保健師)

元山口県健康福祉部審議監 菊池 実代 氏 (保健師)

令和5年度 日本看護協会会長表彰

済生会山口地域ケアセンター技術主管 赤川 ひろ美 氏 (看護師)

公益社団法人山口県看護協会ナースセンター長 宮内 美智代 氏 (看護師)

令和6年度 重点方針

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月から5類に移行されたものの、依然、感染の収束は見えず、また、新たな感染症への警鐘も鳴らされる中、看護職は、いまなお各医療現場等で懸命に職責を果たし続けており、その役割・職責の重要性はかつてないほど社会に浸透している。

こうした中、国において2040年を見据えた少子高齢化社会の人口・疾病構造の変化への対応として進められている地域包括ケアを含む社会制度改革は、長期間における感染症により大きな変更を余儀なくされ、これまで以上に柔軟な対策・対応が求められている。

このため、医療と生活の双方の視点を持った人材育成に加え、感染拡大が生じても、一般医療や救急医療等を含む保健医療システムを機能させながら社会活動を維持させるべく、平時からの危機的な状況下でのマネジメントや感染管理、人員配置などの医療供給体制等の整備、それを支える人材の育成・確保が急がれる。

本協会は看護職能団体として、かねてより、疾病予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮したところであるが、看護職が社会の期待に応え、その重責を果たすためには、協会の組織力を強化し、社会ニーズを適宜、適切に踏まえた事業展開による看護職の育成・確保・活躍にむけた研修体系の充実、処遇改善など活躍しやすい社会環境づくりに取り組まなければならない。

本協会では、各職能の専門性を活かしながら、看護職が必要とされるあらゆる場で、住民のニーズ、社会からの期待に一層応えるため、これらを踏まえ、令和6年度は以下の5点を重点方針として事業を行う。

- 1 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
- 2 看護職の確保と定着の促進
- 3 看護の質の向上とキャリア形成の促進
- 4 組織力の強化
- 5 地域における健康危機管理体制の強化

◆◆◆◆ 令和6年度 山口県看護協会通常総会記念講演 ◆◆◆◆

日 時： 令和6年6月15日(土) 13時50分から15時10分まで

場 所： 山口県総合保健会館 2階 多目的ホール

テーマ： 日本看護協会の重点政策と訪問看護総合支援センターの機能と役割

講 師： 公益社団法人日本看護協会 常任理事 田母神 裕美 氏

令和6年度 公益社団法人山口県看護協会通常総会

プログラム

日時 令和6年6月15日(土) 10:00~13:40

場所 山口県総合保健会館 2F 多目的ホール

9:00	開 場	第二号議案	
9:50	オリエンテーション		令和6年度改選役員及び推薦委員
10:00	開会式	第三号議案	の選出
	物故会員への黙とう		令和7年度日本看護協会通常総会
	会長挨拶	11:40	(休憩)
	山口県健康福祉功労者知事表彰	12:40	報告事項
	山口県看護協会会長表彰		報告事項1 令和5年度 事業報告
	山口県看護協会名誉会員紹介		報告事項2 令和6年度 事業計画
	叙勲受章者、医療功労賞受賞者他紹介		報告事項3 令和6年度 収支予算書
	来賓祝辞		選挙結果報告
	来賓紹介		新役員紹介、旧役員謝辞
11:00	議長団選出 議事録署名人の指名	13:40	閉会
	議決事項	13:50	記念講演
	第一号議案 令和5年度決算報告(案)及び監査報告	15:10	講師：日本看護協会常任理事 田母神 裕美 氏

令和6年度 改選役員及び推薦委員の選出について

役員候補者(改選15名)

	役 職	氏 名	所 属	職 種
再	会 長	西 生 敏 代	山口県看護協会	保 健 師
再	第一副会長	折 込 沙 世	小郡第一総合病院	看 護 師
新	第三副会長	吉 岡 和 代	山口赤十字病院	助 産 師
新	専務理事	菊 池 実 代	山口県看護協会	保 健 師
再	助産師職能理事	塩 道 敦 子	山口大学医学部附属病院	助 産 師
新	看護師職能I理事	中 村 麻 衣	萩市民病院	看 護 師
新	地区理事	伊 藤 友里代	光市立大和総合病院	看 護 師
新	地区理事	山 本 知 美	山口県立総合医療センター	看 護 師
新	地区理事	小 迫 幸 恵	山口県立大学看護栄養学部看護学科	看 護 師
新	地区理事	宇多村 順 子	尾中病院	看 護 師
新	地区理事	井 上 孝 子	美祢市立美東病院	看 護 師
新	地区理事	松 谷 真由美	玉木病院	看 護 師
新	地区理事	関 野 尚 子	済生会下関総合病院	看 護 師
再	監 事	軍 神 弘 美	安岡病院	看 護 師
新	監 事	天 河 浩 二	中国税理士会防府支部	税 理 士

推薦委員候補者(定数7)

	氏 名	所 属	職 種
新	藤 重 久美子	周南健康福祉センター	保 健 師
新	村 谷 香 織	上関町保健福祉課	保 健 師
再	吉 本 美 恵	YIC看護福祉専門学校	助 産 師
再	田 村 知 美	山口県済生会豊浦病院	助 産 師
再	徳 永 洋 子	小郡第一総合病院	看 護 師
再	山 本 純 子	光市立光総合病院	看 護 師
新	久保江 律 子	長門総合病院	看 護 師



令和6年能登半島地震の被災地に 山口県から災害支援ナースを派遣しました



- 派遣期間 令和6年1月18日～令和6年2月5日
- 派遣クール 6クール(1クール3泊4日)
- 派遣人数 24人(1クール4人)
- 派遣先 1.5次避難所(小松市、金沢市)
被災地域内の要配慮者とその同伴者を中心に受け入れ、
2、3日の滞在の後、近隣の医療機関、施設等に移動する

※県内の各施設に災害支援ナースの派遣を依頼したところ、総計20施設から延54人の候補者リストの提出をいただきました。
ご協力ありがとうございました。

光市立光総合病院 災害支援ナース 重安 祐児

今回、2016年熊本地震から2度目となる災害派遣ナースとして、能登半島地震における災害支援活動を行ってきました。全国各地から集結した災害支援ナース達が、初対面でありながらもチームビルディングを行い、前任のメンバーから業務内容を引き継ぎ、把握するなど、初日は緊張した面持ちで活動していました。多くの課題を限られた日程で行い、被災地の方々に寄り添い関わったことで、最終日になると自信に満ちた笑顔で活動している皆の姿は、とても頼もしく見え心に残りました。私自身も心強いメンバーに恵まれ、自分達ができる支援は何かを考えながら活動し、被災地の方々からたくさんの「ありがとう」の言葉を頂きました。そして多くの事を学び活動を終える事ができました。今回、災害支援ナース制度が変わり、交代制勤務や宿泊先も確保され、精神的身体的にもかなり負担が軽減されるようになっていました。山口県もいつ被災地になるかはわかりませんが、今回、県内だけではなく全国の災害支援ナースと共に活動したことで、頼もしく心強い仲間が多くいる事を知りました。

被災地の方々が平穏な生活を過ごせる日が、一日でも早く来ることを心よりお祈り申し上げます。



山口県立総合医療センター 永田 祐香里

私は小松総合体育館という1.5次避難所で災害支援ナースとして活動しました。初めての経験ということで準備段階から不安でいっぱいスタートでしたが、看護師としても災害支援ナースとしても先輩であるメンバーの方々に助けていただきながら、活動することができました。

私は感染対策のための環境整備や感染症に罹患している避難者の健康観察、1次避難所から1.5次避難所への受け入れに関する業務などを行いました。そのなかで、避難をされている方のお話を聞かせていただく機会が多くありました。高齢であるのにも関わらず、冷たく寒い体育館の床で避難生活をされており、排泄や就床の困りごとなど、被災してから1.5次避難所に移動するまでの厳しく辛い体験を聞かせていただきました。今回の経験を通じて、時間経過と共に被災者が求める支援が変化することを再認識しました。

私は将来、DMATとして活動することを目指しています。災害発生後のどの時期においても、被災者が求める看護を提供できるよう、現在所属している外科病棟で経験を積み重ね、臨床判断能力を高めていきたいと考えています。



山口大学医学部附属病院 三木 砂織

私は山口県と広島県の災害支援ナースと共に1.5次避難所である小松総合体育館で活動しました。山口県の災害支援ナースとしては3グループ目ではありましたが、避難所は整備されており、数年前に支援活動を行った際との違いに正直驚きました。ここ数年の各自治体の災害に対する意識の高まりを肌で実感し、日頃の備えと情報把握の重要性を認識しました。そして、今回の慣れない環境での活動で「人のつながり」の大切さを改めて感じました。地元の方、全国各地からの支援者の方の存在も大きかったです。特に活動を共にした災害支援ナースの存在は大きかったです。同じ目標を掲げ、限られた状況でコミュニケーションを取り合い、前向きな意見を出し合うことで活動することができたと思います。支援グループ間の情報交換が円滑にいったのも、人とのつながりであったと思います。

多くの断層を抱える山口県も常に災害と隣り合わせであり、その際に自分がどのように行動できるかと考えると不安になりますが、人とのつながりを大切にして、日々備えたいと考えます。被災地の一刻も早い復旧・復興を心より願います。





周南支部の活動紹介

管理者交流会

令和5年7月15日に山口県医療勤務環境改善支援センター医療労務管理アドバイザー 社会保険労務士 田中 豊弉先生を講師にむかえ「職場のパワーハラスメントを考える」をテーマに、看護管理者に参加していただき開催しました。ハラスメントの正しい知識を身につけ、管理者としての職場環境づくりの必要性を学ぶことができました。

一般教育研修会

令和5年9月16日に光市立光総合病院摂食・嚥下障害看護認定看護師 阿部 智子先生に「もう迷わない! 誤嚥・窒息患者の早期発見と看護実践のポイント」をテーマに、病院・介護施設等に就いている看護職員に参加していただき開催しました。高齢期の摂食・嚥下機能の基礎知識から、嚥下機能が低下しておられる方への上手な食事介助方法等、嚥下・摂食について実践レベルでの知識を学ぶことができました。



在宅療養支援のための看護職連携推進研修

令和5年10月14日に昨年に引き続き「地域における医療・介護のつながりを深める」をテーマに、多職種(保健師・看護師・医療ソーシャルワーカー・介護支援専門員)とのワークショップを開催しました。交流会では沢山の意見交換ができ、顔の見える関係づくりができました。

職能研修会

令和5年11月25日に周南北部地域包括支援センター看護師・アロマセラピスト 堀家幸美先生に「アロマテラピーを生活にとりいれてみませんか!!」をテーマにリフレッシュ研修を開催しました。アロマスプレー作りを体験し、五感で「癒し」を体験することができました。



3支部合同看護マネジメント研究会

令和6年2月3日に岩国・柳井・周南支部の3支部合同看護マネジメント研究会を岩国市で開催しました。行政保健師・看護学校等から12演題の研究発表がありました。テーマ「連携強化」のとおり、多岐にわたりとても興味深い演題でした。まさに看護の力でできること・できたことを共有できました。

まちの保健室

令和5年9月、12月に周南市・下松市主催イベントでまちの保健室活動を実施しました。行政機関と連携し、地域住民の皆様と久しぶりに触れ合い、笑顔で対話ができる喜びを感じました。



● 宇部支部Information

月日(曜日)	時間	行事名等	場所	申込み先・問合せ先	参加条件
6月22日(土)	10:00~11:30	教育研修「災害時地域と自施設で看護職として備えておくこと」	山口大学 医明館	牟田 薫 (山口県立こころの医療センター) TEL:0836-58-2370	他の支部も参加可能
7月20日(土)	11:00~12:00 (支部集会后)	職能合同研修 「睡眠について」	山口大学 医明館	牟田 薫 (山口県立こころの医療センター) TEL:0836-58-2370	他の支部も参加可能



小野田支部の活動紹介

職能委員会

令和5年11月19日(日) SOS健康フェスタに7名の職能委員が参加し、かんどちゃんのポロシャツを着用して、血圧測定・体脂肪測定・健康相談・AGES測定を行いました。10～80歳代の幅広い年齢層の方、111名がご参加くださいました。参加された高齢者の方々は、ウォーキング、体操等を自ら行い、年齢より若く見える方が多かったようです。逆に血圧は高いが、病院に行っていない、血圧の薬を飲むのをやめられないから飲まないなど間違った意見を言われる方もおられ、「まちの保健室」としてこういう方への働きかけが必要だと感じた日でした。

令和6年5月14日(火)には、日本看護協会PRバスの山口県内運行にあわせて、おのだサンパークで「まちの保健室」を開催しました。



SOS健康フェスタ



AGES測定中

教育委員会

令和6年2月15日にオンラインで研修を開催いたしました。研修テーマは、「がん化学療法における皮膚障害」で山陽小野田市民病院 がん化学療法看護認定看護師 竹内織恵先生にご講義いただきました。内服の抗癌剤治療をされている方、施設入所で治療を継続している方など幅広く必要な知識であり、すぐに役立つ講義内容でした。

在宅療養支援のための看護師連携推進研修会

令和5年8月1日(火)に「波乗りクリニック」小早川節院長を講師に、オンライン形式で「在宅医療の実際と在宅・医療連携強化について～ここまでは出来る在宅医療(そこからは入院で)」をテーマにご講義いただきました。

参加人数は、45名でした。病院勤務の看護師にとって、現在の在宅医療や看護は、輸血なども含め、病院で行う医療のほとんどが提供できるという驚きの内容でした。幅広く研修にご参加いただけるように、今後は、訪問看護の協議会を通じて、情報案内や連携を図っていけるとよいと考えています。



医療安全推進委員会から

No.55

医療安全情報



転倒・転落を予防するために ～危険を予測～

転倒・転落の発生防止

- ▷患者背景から、どのような危険があるのかを予測(評価)し、スタッフ間で危険情報の共有
- ▷発生要因への可能な対応
 - ①患者の危険要因への対応
 - ②患者の転倒の危険に応じて、介助、環境などの状況要因への対応

転倒・転落による傷害の防止(傷害最小化策)

- ▷転倒・転落が傷害に結び付きやすい患者や状況を予測(評価)し傷害防止と転倒・転落の早期発見

転倒・転落を予防するためには
患者要因 + 環境要因 + 行動要因 → **安全な行動を**
 (内的要因) (外的要因) (何かしようとして注目)
【転んでも大げがしない】環境づくりが大切!
 どんなところに危険が潜んでいるか考える
KYT(危険予知トレーニング)も必要!
 隣のイラストで考えてみましょう(?_?)

Q. 左半身麻痺のAさんの部屋です
どんな危険が潜んでいるでしょうか





労働環境支援委員会

令和5年度 活動報告

ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して

副委員長 石井 恵子

労働環境支援委員会は、働き続けられる職場づくりの推進、看護職の確保・定着を目標として、「セカンドキャリア支援研修会」と「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)看護管理者向け」とその実践報告フォローアップ研修会を企画・開催しました。

◆セカンドキャリア支援研修会

12月23日(土)一般教育研修「自分らしく輝き続けるために!」を開催いたしました。

◆ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会 対象:中間管理職(主任以上)

7月11日(火) 12日(水) 修了者27名

講義「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を作る!~就業継続できる職場づくりに向けて~」

公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課 奥村元子先生 Zoom

演習「仕事のコントロール感を持つ支援を実現するための体制づくりの実際」

徳山中央病院 山口県看護協会担当理事 認定看護管理者 小阪マリ子先生

「残業・人員・年代の幅の違いといった共通の課題が共有できた。」「管理者としての心づもりや考え方を学ぶことが出来た。」「管理者としての課題が明確になった。」などの感想が寄せられました。皆がやる気を持って仕事に望むためにはどうしたらいいかという思いが良く伝わってきました。すでに改善に取り組まれている施設もありその方法を共有するなど情報交換の機会にもなりました。

◆ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会 看護管理者向け

10月22日(木) 参加者34名

講義:「労務管理上の看護職の働き方について」労働局の社会保険労務士 福田 美子 先生

講義:「夜勤交代制勤務を正循環で行うための取り組みについて」

山口労災病院 看護部長 認定看護管理者 久下景子先生

勤務作成上のルールを見直しシンプルにすることと、選択制勤務パターンを導入し個人のライフスタイルや体力に合わせて選択性とし、「セル看護体制」を導入されている実際を報告されました。看護の専門性の追求、心理的安全性の担保、時間外勤務の削減、働き方改革に繋がられるようグループワークでも意見交換が行われました。

◆ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会 実践報告フォローアップ研修

2月15日(木) 参加者20名

「仕事のコントロール感」を持つ支援を実現するための体制づくりの実際(実践報告会)

7月研修対象者へのフォローアップ研修として開催しました。各施設の実践をグループワークしたのち全体で共有し、自身の振り返りと共に中間管理職として明日からまた頑張ろうという機会になりました。

労働環境支援委員会メンバーより

会員の皆様一人ひとりが職場環境の改善につとめ、生き活きと働き続けることが、看護職の確保・定着につながります。委員会ではR6年度に向けての研修会を企画中です。是非多くの皆様のご参加をお願いいたします。



教育委員会

委員長 上野 由紀恵

教育委員会は、多様化する社会ニーズに柔軟に対応できる看護師の育成、看護能力の向上を目的として一般教育研修を企画・運営しています。

研修を企画するにあたっては、研修の状況や受講者アンケートの回答、支部や各委員会からの意見・要望などを基に検討しながら進めています。

令和6年度は、「看護職の生涯学習ガイドライン」を考慮し、看護の専門性の向上、看護の役割拡大によるチーム医療の推進、中堅看護師の育成とサポート、看護師が元気に働き続けられる環境づくり等に重点をおいた研修を企画しています。

オンライン研修等の急速な普及で、場所を選ばず多種多様な研修を受講できるようになった今、「私たちにあって必要で有意義な山口県の研修」を県内看護職の皆様と共に創っていきたいと考えています。教育委員一同、皆様からの声をお待ちしています！

【担当理事：藤谷 教育委員：上野、國次、木村、岡手、金子、三浦、原、亀崎、姫井、松隈、事務局担当者：河内山】



学会委員会

委員長 江藤 亜矢子

学会委員会の主な活動は、山口県看護研究学会の企画・運営となります。令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症になったこともあり、開催方法を検討し制限が緩和されることになりました。第23回山口県看護研究学会は、参加人数に制限をせず、個人の感染対策・セルフチェック実施のもと3月2日(土)に対面で開催されました。口演発表7演題・示説発表3演題の一般発表と特別講演を開催することができ、参加者の皆様からは多くの学びにご満足いただけた感想が届いております。また今年度は新たに特別講演のオンデマンド配信も実施されました。これらは看護協会長をはじめとする理事の皆様方や事務局、各学会委員のご尽力に加え、日々多忙の看護活動のなか会員皆様の患者様を思う看護の熱意によるものだと考えます。

今学会のテーマであった「看護の原点をみつめ未来につなぐ」のように、コロナ禍を乗り越えようとする今、看護の原点をみつめなおし、これからの看護活動、看護研究活動に新しい看護の風を取り入れながら、第24回看護研究学会に向けた委員会での活動に努めてまいりたいと存じます。



看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）の活動

看護師職能委員会Ⅰ委員長 池田 早苗

令和5年度山口県看護協会看護師職能委員会Ⅰは、看護実践能力の向上を目標の中心とし、JNAラダー導入推進に向けて継続的に取り組んできました。令和4年度には、JNAラダー導入の進捗状況の調査を実施し、その結果をもとに研修会を開催しました。令和5年度は、作成・導入を支援する講習会を2回に分けて開催することとし、支援希望施設を募集しました。その結果、多くの応募があり、先着5施設を支援施設に決定しました。訪問看護施設からの希望もあり、全般的にJNAラダー導入に対する意識が高まってきていると感じられました。参加者は5施設11名、ファシリテーターは6名（1名は総括）で、12月と3月の2回に分けて開催しました。支援方法は、それぞれの施設に対してファシリテーター1名が個別に行いました。支援後のアンケート調査結果では、すべての施設がラダーの作成が「できた」または「大体できた」という回答でした。しかし、開催時間が短かったという意見や、開催時期においては1回目と2回目の期間が短いという意見がありました。また、ファシリテーターのアンケート結果では、実際の支援を行うことで自身の学びも多く、支援希望施設・ファシリテーター間の情報共有の機会になったという意見もありました。今後は、個々の看護職がキャリアアップへとつなぐことができる支援を新たに行う予定です。



看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅領域）の活動

看護師職能委員会Ⅱ委員長 露繁 巧江

看護師職能委員会Ⅱは、介護福祉施設・在宅領域の看護に焦点をあて、ケアの質向上に取り組んでいます。今回、活動のひとつである「看護師職能Ⅱ交流会」について紹介します。

交流会は、令和6年2月3日「尊厳ある看取り」をテーマに開催しました。訪問看護・老人福祉施設・老人保健施設・介護医療院・小規模多機能・病院の多施設から32名の参加がありました。内容は、特養で看取りをされている看護師 森本香子先生の事例発表とグループワークを行いました。交流会後「色々な施設の、色々な意見や思いを聞くことができた。」「同じような思いで色々葛藤しながら皆さん取り組んでおり勉強になった。」等の感想を頂きました。

これら感想に「色々」という言葉が多く使われているのが印象的で、看取りの在り方も画一ではないと感じました。多死社会と言われる日本、尊厳ある看取りの在り方について、看護師職能委員会Ⅱも色々考え続けていきます。



他活動（令和5年度）

- ・ 介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）
- ・ BCP作成改善の情報収集・課題発見
- ・ 看護管理者のマネジメント力向上に関する情報収集・課題発見
- ・ 支部看護師職能委員Ⅱ合同会議

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

「保健師」のすすめ

光市福祉保健部健康政策担当次長
兼 健康増進課長 (R6年3月31日をもって退職) 田中 満喜

プロフィール

血液型：O型

趣味：ガーデニング、小旅行、断捨離、読書

ストレス発散方法：夫、友達とおしゃべり、良質な睡眠



(前列左4番目 作業着を着用されている方が田中さんです)

「保健師」を目指した理由

私は、児童養護施設から里親宅で3歳から18歳までを過ごしました。中学生の家庭科の授業で、「3歳までの母親の愛情がとても大切で、その愛情を受けられなかった人は、将来、ろくな人間にならない」との言葉に、大変ショックを受けたことは成長過程での忘れられない出来事です。反発や不安やどうにもならない悲しみなど、多くの感情が生まれました。

高校生の時、叔母が保健師という友人から、母子保健に関わる「保健師」という職業があることを聞きました。当時は「母性」と「赤ちゃん」という程度の理解ではありましたが、「保健師になって“母子保健”に関わることは自分にとって何かの意味があるのではないかと考え、私の人生の目標となりました。その後、奨学金を受け、アルバイトもしながら、看護専門学校、保健師専門学校、助産師専門学校で学び、平成元年度に保健師として現職場に入庁しました。

「保健師」として働いてみて

入職後、希望して“母子保健”を9年間担当し、多くの母子や、母子保健推進員さんをはじめ、様々な方々等との出会いがあり、貴重な経験を重ねて、母子保健は、妊娠、出産、乳幼児、学童、思春期、青年期とつながっていくもの、子どもは、母親だけでなく、周囲の多くの人との関わりと経験の中で育っていくもの、社会全体で子育てを支援していくことを学びました。

当時の母子保健推進員さんとは、30年以上も私的な交流が続いた方も複数いらっしゃいます。また、私も、結婚して家庭を持ち、出産、子育ても経験しました。多くの出会いとつながり、母子保健担当の保健師としての経験の中で、子どもの頃の自分が癒され、また、成長できたと思っています。

その後は成人保健、高齢者保健福祉、障害者保健福祉、児童福祉、介護保険等様々な分野に携わり、また、東日本大震災支援、新型コロナウィルスワクチン接種、職域保健等多様な業務を経験して、現在は管理職の立場となっています。

今の楽しみは、後輩の保健師さん等が様々な経験を通して成長していく姿を見ることです。

「保健師」のすすめ

保健師という職業は、私に希望を与えてくれました。「健康」を通して、すべてのライフステージに関わる仕事内容は、とてもやりがいがあるもので、仕事の経験は私生活にも生かせましたし、自分の育ちや、子育て、介護、病気、人との関わりなど多くの経験を仕事に生かしてきたと感じています。

「見る」「つなぐ」「動かす」プロセスの中で、上手くいった時には、とても達成感がありました。また、介護の窓口で、「保健師さんですよね。20年前に赤ちゃん訪問していただきました。今度は、お祖母ちゃん介護の相談です。本当にゆりかごから墓場まで(まだ早いと思うが)お世話になります。」と言われた時には、覚えていただいております。また、久しぶりに別の立場でも、サポートできたことをうれしく思い、仕事に誇りが持てました。

保健師として大切にしていること(後輩へのメッセージ)

- ・人との出会いとつながりを大切に、一人で頑張らないこと、仲間や理解者、協力者、助けてくれる人が必ずいる。
- ・寄り添う気持ちを持つこと。色々な人がいて当たり前、プロとして一生懸命接すること。
- ・自分ができることをすぐに行うこと。

職場の仲間からひとこと

素早い判断力と行動力でいつも引っ張ってくれるバイタリティあふれる先輩です。

信念と目標を持って様々な課題に取り組む姿勢は、私たちが目指していく保健師像そのものです。

これからもよろしくをお願いします。

インタビューを終えて

お忙しいなか、快くインタビューを引き受けてくださいました。人との出会いやつながりを大切に、寄り添う気持ちをもって保健師活動に取り組まれている熱い思いが伝わってきました。

また、仕事・生活のなかで得た自身の経験を保健師活動に生かすことの大切さも改めて感じる事ができました。3月をもってご退職されたとのこと、とても寂しく残念に思っています。退職されても、私たちが目指したい保健師さんであることに変わりはありません！お体に気を付けてください。ありがとうございました。

令和6年度 事業のおしらせ

令和6年度を迎え、山口県ナースセンターではさまざまな事業を行っています。ナースセンターは、看護職のキャリアを支援します。お気軽にご相談下さい。

再チャレンジ研修・未就業看護職員対象教育研修

未就業で就業をお考えの方のご参加をお待ちしております。

無料職業紹介

eナース登録をしていただき、ご希望の施設への就業支援をしております。スマートフォンからの登録も可能です。

就業コーディネーターによるハローワーク就業相談

各ハローワークで出張相談をお受けしています。また、再チャレンジ研修・看護技術演習等の再就業に向けた調整や再就業後の施設訪問等で不安なく再就業できるように切れ目のない支援をしております。

ナースのお悩み相談室

仕事に関する悩みや就業に関する相談など、ちょっとお話しませんか。お電話・メールでもOK

場所：山口県看護協会 山口県ナースセンター 相談室

日時：山口県ナースセンター開館日 9:00~16:00

(土・日祝日、年末年始休日を除く)

TEL：0835-24-3593

Email：sodan@y-kango.or.jp

予約不要
お気軽に
ご相談ください

個人情報の保護を遵守します。安心してご相談ください。

演習器材の貸し出し

採血・吸引・導尿・成人実習モデル等 1モデル2週間程度(予約:要)

個人の技術演習

令和6年5月~令和7年3月(予約:要)

毎週金曜日(祝日等休止の場合あり): 13:00~16:00

演習内容:採血・静脈注射・吸引など

※未就業の方、ブランクがあり看護技術に不安のある方等

詳しくは5月以降の山口県ナースセンターホームページをご覧ください。

令和6年度ハローワーク相談スケジュール

会場	ハローワーク 岩国	ハローワーク 柳井	ハローワーク 下松	ハローワーク 徳山	ハローワーク 防府	ハローワーク 山口	ハローワーク 宇部	ハローワーク 長門	ハローワーク 萩	ハローワーク 下関
相談日	毎月第4 金曜日	奇数月第2 水曜日	奇数月第4 月曜日	毎月第3 水曜日	毎月第3 水曜日	毎月第1 木曜日	毎月第3 火曜日	奇数月第3 火曜日	毎月第2 水曜日	毎月第2 火曜日
時間	10:00 ~16:00	10:00 ~12:00	10:00 ~12:00	10:00 ~16:00	10:00 ~12:00	10:00 ~16:00	10:00 ~16:00	10:00 ~12:00	10:00 ~16:00	10:00 ~12:00
5月	24	8	27	15	15	2	21	21	8	14
6月	28			19	19	6	18		12	11
7月	26	10	22	17	17	4	16	16	10	9
8月	23			21	21	1	20		14	13
9月	27	11	9 (第2週)	18	18	5	17	17	11	10
10月	25			16	16	3	15		9	8
11月	22	13	25	20	20	7	19	19	13	12
12月	27			18	18	5	17		11	10
1月	24	8	27	15	15	16 (第3週)	21	21	8	14
2月	28			19	19	6	18		12	4 (第1週)
3月	21 (第3週)	12	24	19	19	6	18	18	12	11

令和6年5月~令和7年3月

※赤字の日にちは、相談日の開催週又は曜日が変更になっています。
※ご注意ください。
※やむを得ない事情により開催が困難な場合には、中止となる場合があります。
※必ずホームページ等で最新情報をご確認ください。
(下記2次元コードからもアクセスできます)



求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター(無料職業紹介所)をご利用ください。

TEL:0835-24-5791 FAX:0835-28-9688 E-mail:yamaguchi@nurse-center.net

eナースセンター
(無料職業紹介サイト)



とどけるん
(看護師等の届出サイト)





Pet pride

ペット自慢



チワプー (MIX犬) のサラちゃん

1歳

食欲旺盛、お散歩大好きな
おてんばなお姫様です。
お散歩仲間もたくさんいて、
楽しく過ごしてます！



ノエルちゃん

私の名前は「ノエル」❤️

クリスマスに生まれたので、その
名前になったって教えてもらったよ。

お散歩は、錦帯橋などに連れて
行ってもらってるよ。

家にいる時は、いつも1階でお留守
番をしているけど、寂しくなると「誰
か2階にいるかも・・・」と階段を上っ
てみるの。

でも、実は小さな頃に階段から落
ちたことがあって、2階に上がった
はいいけど、怖くて下りることがで
きないので困っちゃう私です 😅



かんどちゃん活動記 Vol.3

岩国支部の活動取材してきました！

令和5年11月19日(日)に「岩国市医師会市民公開講座・岩国市地域包括ケア推進大会～この街で最期まで自分らしく暮らすための医療・介護と街づくり～」が開催されました。主催者の岩国市地域包括ケア推進協議会は、多くの医療・福祉・介護関係機関で構成されており、看護協会岩国支部も、その構成メンバーです。



イベントポスターとかんどちゃん

当日は、「専門家として、家族として、在宅看取りを通して考えた～自分らしく生きるための今日からできる終活」と題し、特定非営利活動法人 エンディングノート普及協会会長 赤川なおみ 先生の講演があり、380名の市民の方や関係者の参加がありました。皆さんとても熱心に話をきいていました。

また、講演会開始前のイベントコーナーでは、健康や介護に関する様々な体験や相談ができました。看護協会岩国支部は、「まちの保健室」を開設し、健康相談や認知症相談、肌年齢測定、骨密度測定、血管年齢測定を行っていました。160人の市民の方が来場され、7人のスタッフみんな大忙しでした。市民の皆さんに自分の健康を振り返ってもらい、看護協会の活動を知ってもらうとても良い機会となっていました。



岩国支部の皆さん

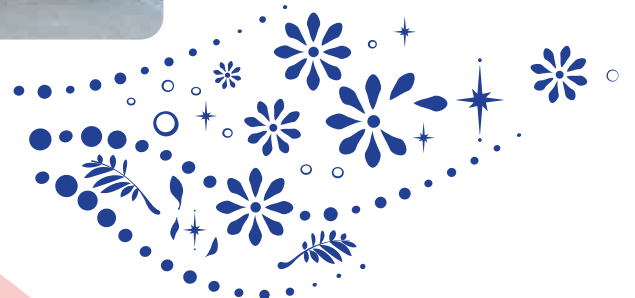


まちの保健室



認知症の簡易テストを受けるかんどちゃん

2023.11.19 山口支部 平川まつり まちの保健室



 **2024.1.6**
日本看護協会 高橋弘枝 会長 講演会



 **2024.1.30**
中国地方医療功労賞 表彰式



募集
2025

巳年生まれの方

会報きらめきの2025年1月号で巳年生まれの方を紹介予定です。2025年巳年の思い出に応募してみませんか？

応募された方には
かんごちゃんグッズ
プレゼント!!
みんなからの応募
待ってるよ!



- 掲載号：会報きらめき161号（2025年1月1日発行）
- 記事のテーマ：「今年の顔」（巳年生まれの方）
- 掲載内容：顔写真または似顔絵かイラスト

- 所属先
- 氏名・又はペンネーム
- 今年の抱負
- あなたが幸せを感じる時

*③、④はそれぞれ一言でお願いします。

顔写真又は
似顔絵かイラスト

- 〇〇病院
- 山口花子
- 心身共に健康!
- マンガを読んでいる時

- 顔写真：※写真をデータで提出される場合は原稿に似顔絵やイラストでも可 貼り付けず、別途送信してください。

- 提出期限：令和6年10月8日（火）正午
- 提出方法：メールまたは郵送
- 提出先：山口県看護協会 総務課宛

メール：koho@y-kango.or.jp
郵送：〒747-0062 防府市大字上右田2686番地

※本会会報は、他県看護協会、県内関係団体、県内市町等に配布しております

送付先・問合せ先

山口県看護協会 総務課
〒747-0062 防府市大字上右田2686
TEL:0835-24-5790 / FAX:0835-24-1230
e-mail: koho@y-kango.or.jp

【開館日】火曜日～土曜日 / 8:30～17:00（月曜日祝日の場合は火曜日も休館）



期間中【2024.8/1(木)▶2024.9/30(月)】に限り

※休園日は除く。

※対象外日程:8月11日・12日・13日・14日 9月14日・15日・16日・21日・22日・23日

入園+アトラクション利用の
パスポートチケット (通常1名 3,600円) が無料!

※一部アトラクションは
別料金となります。



✂ 切り取り

無料ご招待

公益社団法人
山口県看護協会 主催事業
【会員とご同行者様併せて2名まで 対象】

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「山口県看護協会
会員証または、電子会員証」と一緒に
ハーモニーランドチケット売場に
提示してください。
入園とアトラクション利用のパス
ポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの
提示では本企画をご利用できません。

※当日の申請は1回のみ、会員含め2名までとなり、
2名を超える場合は、同伴者特別割引をご利用く
ださい。

(tel.0835-24-5790)

キャリアナースの
登録は
こちらから



ハーモニーランド 営業課
tel.0977-73-1155
(営業時間内)

Harmonyland
大分県速見郡日出町大字藤原5933
© 2024 SANRIO CO., LTD.

◆ハーモニーランドからのお願い◆

園外からお持ち込みになられました飲食物のお食事場所は「フレンドリーホール」「ピクニックガーデン」をご利用ください。
※園内飲食施設へのお持ち込みはご遠慮いただいております。

山口県看護協会 会員専用
ハーモニーランド利用申請書

【対象期間】 2024年8月1日(木)~
2024年9月30日(月)



コピー可

P332

ご利用日	月	日	会員番号
会員氏名			同行者氏名
※対象外日程:休園日と8月11日・12日・13日・14日 9月14日・15日・16日・21日・22日・23日 ※会員代表者を含む2名様までご利用可能です			

同伴者
割引申請

※無料ご招待2名を超える場合は、特別割引料金1名2,000円でパスポートチケットをご購入頂けます
※同伴者特別割引は、申請の際のみご購入対応とさせていただきます
※同伴者特別割引は5名まで有効となります

同伴者特別割引
ご利用合計数
(4歳以上) 名様

P308-3

編集
後記



山口県かんちゃん

広報委員として2年間会報きらめきの作成に携わらせていただきました。
SNSでの発信や、かんちゃん活動記の掲載など新たなことも取り組みました。
委員になったからこそ、看護に関する旬な情報を得ることができ、自身のブラッシュアップにも
つながりました。

今後も素敵な広報誌である事を期待しています。

(栗林・中村・吉永)